

令和4年7月17日
今週のベストショット



青松園A 三苦フレンズ 対 新町ウインズ
二打席連続HRで今季初勝利に貢献した新町ウインズ花田選手。
写真：ブルーマーリンズ 山本 憲明

奈多グラウンド 合計5HRで首位ホーネッツ快勝！

奈多フェニックス（3勝2敗）100010 2 太田●、西藤一大濱

三苦ホーネッツ（4勝1分）230132 11 矢野○ー広木

HR：広木2、西村2、国吉（三苦ホ）3BH：広木、矢野、山崎、国吉（三苦ホ）

2BH：実延彰（奈多フ）只松2（三苦ホ）盗塁：望月（奈多フ）山崎（三苦ホ）

初回、奈多フェニックスの攻撃は、相手のエラーなどもあり幸先よく先制する。しかしその裏、三苦ホーネッツは先頭打者の広木選手がいきなり先頭打者HRを放って同点に追いつくと、続く三番矢野選手の三塁打などもありあっさりと逆転に成功する。同点に追いつきたいフェニックスは二回、三回、四回とホーネッツ矢野投手を前になかなか反撃の口火を切ることができない。一方、二回裏ホーネッツは、八番国吉選手が和白リーグ初打席で2ランHRを放ち、その後も一番広木選手のタイムリーなどでこの回ノーアウトで3点目。しかしここで変わったフェニックス西藤投手が好リリーフを見せ三人で打ち取る。一瞬流れを引き寄せたかに見えたが、ホーネッツ一番広木選手のこの試合2本目のHR、五番西村選手も駐車場まで届くHRを2本放ちゲームセット。計13安打、5本のHRを放ちホーネッツの快勝となった。（記事・写真：奈多サンデース 野々下 利生久）



三苦ホーネッツ先発の矢野投手。



奈多フェニックス先発の太田投手。



見事送りバントを決めた今林誠選手。



好リリーフをみせたフェニックス西藤投手。



センターへ特大のホームランを放つ広木選手。



もう少しでスタンドに入っていた望月選手の二塁打。



2本目のHRを放ちガッツポーズ西村選手。



2 HR西村（左）初打席HR国吉（中）2 HR広木選手（右）。

青松園A ファイニングまで突入するテンポの良い試合を制したのは・・・

三苦フレンズ（2勝2敗1分）0020011 4 生野（拓）●－佐藤（由）

新町ウインズ （1勝4敗）122100X 6 藤田○－今林

HR：生野（拓）（三苦フ）花田2（新町ウ） 2BH：桐島（新町ウ） 盗塁：生野（拓）（三苦フ）

初回三苦フレンズの攻撃は、エラーや四球からランナーを二塁と三塁に進めるも後続が倒れ無得点に終わる。対する新町ウインズの攻撃は、四球と内安打からチャンスを広げ、相手の守備の乱れから1点を先制する。二回の裏ウインズは、先頭の花田選手にレフトの頭上を超える本塁打が生まれ2点を追加する。三回の表フレンズは、二番生野（拓）選手に本塁打が生まれてすぐさま2点を返した。三回の裏ウインズは、六番花田選手の二打席連続本塁打により2点を追加する。フレンズも六回、七回と1点を返すが、反撃及ばずゲームセットとなる。三苦フレンズ生野（拓）投手、新町ウインズ藤田投手、ともにリズムの良い投球からテンポの良い展開となった試合は新町ウインズに軍配があがった。

（記事：ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真：山本 憲明）



試合前 新町ウインズ練習風景。



試合前 三苦フレンズ練習風景。



新町ウインズ藤田投手。



三苦フレンズ生野（拓）投手。



新町ウインズ花田選手の本塁打（1本目）。



三苦フレンズ生野（拓）選手の本塁打（ホームイン）。



本日のヒーロー新町ウインズ花田選手。

青松園B 鮎川投手の力投で三球会快勝！

三苦三球会 （4勝1敗）10361 11 鮎川○ー葦原
 ソルトベイスターズ（2勝3敗）20001 3 江良●、酒井ー大門、山の川

HR：鮎川、渡邊（三球会）井浦（ソルト） 3BH：井浦（ソルト） 2BH：船橋（純）（三球会）

盗塁：野口、吉田、大門（ソルト）

一回表、三苦三球会は先頭の一番船橋（純）選手が四球で出塁すると、続く二番塚（達）選手が犠打で走者を得点圏に。すると、一死二塁から三番鮎川選手のセンター前への打球が先制のタイムリーとなり教科書通りの得点方式で三球会が先制をする。しかし、その直後の一回裏三球会先発の鮎川投手は二死三塁からソルトベイスターズ四番井浦選手に右中間へ痛烈な2ランHRを放たれ逆転を許してしまう。二回は両投手の好投により得点はなかったが、三回表三球会は、押し出し四球などで3点を追加し勝ち越しに成功。だが直後の三回裏ソルトベイスターズ二番吉田選手にセーフティバントを決められ二死ながらも出塁を許すと、打席には三番酒井選手。盗塁で走者を得点圏に進められてしまうと、酒井選手の打球はライト線へ。抜ければ確実に得点を奪われる場面であったが、これを三球会塚（太）右翼手がダイビングキャッチ。この回を無失点で切り抜ける。このプレーで勢いがついた三球会は四回表に三番鮎川選手、六番渡邊選手のHRなどで6点を追加する。リードを得た三球会はこのまま逃げ切りに成功し

今季4勝目を挙げた。敗れたソルトベイスターズは三回の攻防が悔やまれる。転がりようによっては逆の試合展開になったかもしれない。(記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭)



ソルトベイスターズ先発の江良投手。



一回表先制のホームインをする三球会船橋(純)選手。



三苦三球会先発の鮎川投手。



三回表、三遊間を破る安打を放つ三球会三番鮎川選手。



三回裏、2点を追う場面でのソルト三番酒井選手のライト方向へのバッティング。



三回裏、ダイビングキャッチで好捕した三球会塚(太)選手。



ソルトベイスターズ 二番手酒井投手。



四回表、三球会六番渡邊選手のライトへの打球。



四回表、激走でホームインする渡邊選手。



四回裏、レフトへの安打を放つソルト五番江良選手。



本日のヒーロー！本塁打を放った渡邊選手（左）、完投勝利と自身も本塁打を含む3安打猛打賞の鮎川選手（中）、三回裏のダイビングキャッチで試合の流れを引き寄せた塚（太）選手（右）。